

がん治療スタッフによる就労支援

～乳がん治療を通して取り組んだこと、
取り組むべきこと～

名古屋第二赤十字病院 一般消化器外科

赤羽和久



本日の内容

- 1) 医師の就労支援に対する意識調査
- 2) 乳癌経験者の就労に対する意識調査
- 3) 具体的に取り組んだこと
(愛知県がんセンター愛知病院乳腺科)
- 4) これから取り組むべきこと



取組み①

診断時から就労支援を開始

自覚症状・検診異常
視触診・MMG・US



細胞診・組織診

病理検査の結果、乳癌でした。

今後の治療法を検討するうえで、画像による全身検索を行います。次回、今後の治療について詳しくお話ししましょう…



画像検査（CT・MRI・骨シンチ・PET）

この間に、退職する患者も多い

病状説明と治療法の相談

〇〇さんの乳癌に対する治療については…

××療法が必要です。

今後の治療を進めるうえでお仕事のこととか何か気がかりはありますか？

もう、仕事は辞めました…





取組み①

診断時から就労支援を開始

自覚症状・検診異常
視触診・MMG・US



細胞診・組織診

病理検査の結果、乳癌でした。

今後の治療法を検討するうえで、画像による全身検索を行います。その結果を見て今後の治療について詳しくお話ししましょう…



退職：33/199名（2名：定年退職）
告知された直後に退職：17名



画像検査（CT・MRI・骨シンチ・PET）



病状説明と治療法の相談

〇〇さんの乳癌に対する治療については…

××療法が必要です。

今後の治療を進めるうえでお仕事のこととか何か気がかりはありますか？

もう、仕事は辞めました…





取組み①

診断時から就労支援を開始

自覚症状・検診異常
視触診・MMG・US



細胞診・組織診

病理検査の結果、乳癌でした。

今後の治療法を検討するうえで、画像による全身検索を行います。次回、今後の治療について詳しくお話ししましょう…



画像検査（CT・MRI・骨シ

仕事は、すぐに辞める必要はありません。

就労できるかどうかも含めて一緒に考えていきましょう。



病状説明と治療法の相談

〇〇さんの乳癌に対する治療については…

××療法が必要です。

今後の治療を進めるうえでお仕事のこととか何か気がかりはありますか？

仕事のこと相談できる

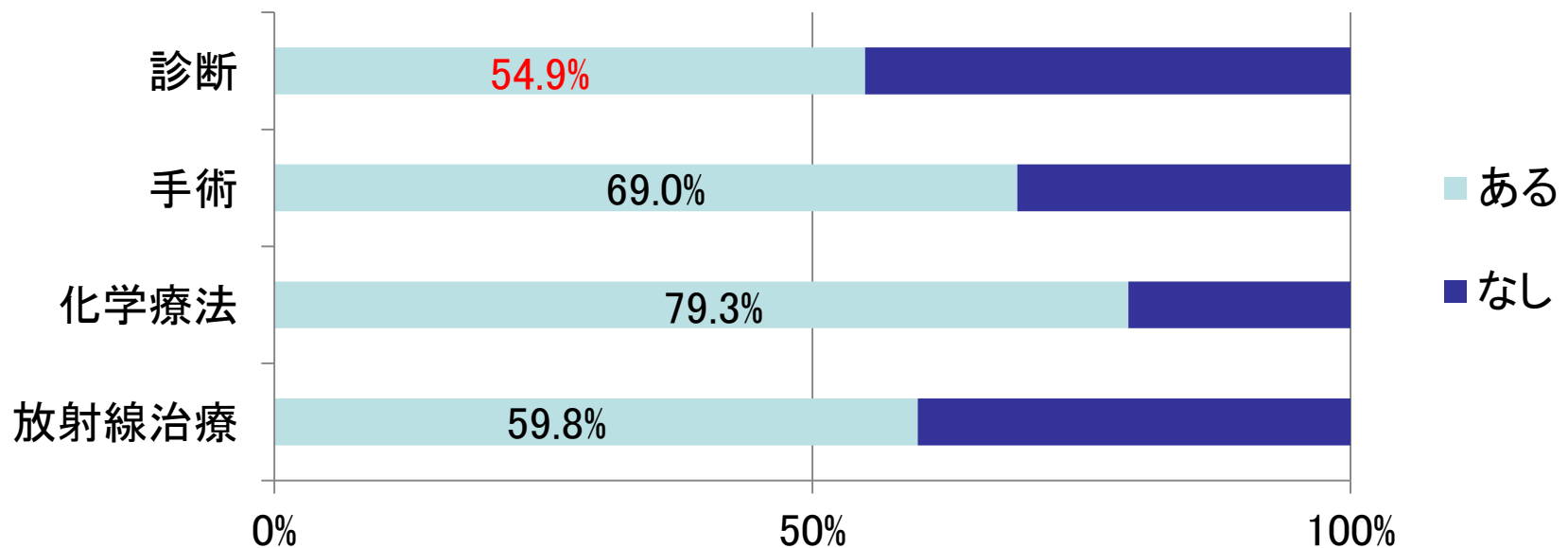




取組み①

診断時から就労支援を開始

医師アンケート：就労について患者から質問や相談を受けたことがありますか？



診断時に就労相談する患者は多くはない。

→受け身にならず、医療者側から積極的に就労を話題に！



取組み②

情報提供の在り方を検討

乳癌初期治療では、おおよその休業期間を推測できる。

治療期間ならびに予想される休業期間の情報は、患者自身が職場の担当者と休業時や職場復帰時の対応について相談するときには有用である。

1. 手術療法： 職場復帰までの期間は術式ごとに推測可能。
事務作業 乳房全摘・乳房部分切除のみなら術後2週間
腋窩郭清追加は術後4週間
重労働 全摘・部分切除は腋窩郭清にかかわらず術後4週間
2. 化学療法： 治療期間は推測可能。
終了後も副作用に対する配慮が必要。
3. ホルモン療法： 就労可(96.2%)。
更年期症状や抑うつ症状には注意が必要
4. 放射線療法： 就労可(94.6%)。通院に対する配慮を要する。





取組み②

情報提供の在り方を検討

医療現場で直ちに実践可能な就労支援

1) 就労支援をいつから行うか(タイミング)?

→ がん告知時から開始

2) 提供すべき情報は(対象者の中に事業者)?

→ 「事業者・がん患者やその家族・経験者に対する情報提供」を行う。

→ 治療の見通し; 治療期間(休業期間)を含む



取組み② 情報提供の在り方を検討



手術結果ならびに治療計画書

平成 年 月 日

カルテ番号 _____ 氏名 _____

手術結果

手術日 平成 年 月 日

術式 右 / 左

乳房 乳房部分切除 / 乳房切除 (再建 あり / なし)

腋窩 1. センチネルリンパ節生検 あり (陰性 / 陽性) / なし
2. 腋窩リンパ節郭清 あり / なし

病理検査結果

組織 浸潤がん / 非浸潤がん

浸潤がんの大きさ X mm

組織学的グレード 1 / 2 / 3

脈管侵襲 リンパ管侵襲 (lv) +, ±, - 血管侵襲 (v) +, ±, -
リンパ節転移 あり / なし (転移リンパ節/郭清リンパ節個数: /)

切除断端 陰性 / 陽性

病期 0, I, IIA, IIB, IIIA, IIIB, IIIC, IV

ホルモン受容体 あり / なし

ER:

PgR: (3点以上が陽性)

HER2 タンパクの発現 陽性 / 陰性

0 / 1 / 2 (FISH 増幅あり/なし) / 3

Ki67 発現 高い / 低い

サブタイプ ルミナル A, ルミナル B (HER2 あり / なし), HER2,
トリプルネガティブ

術前治療 (化学療法 / 分子標的薬 / ホルモン) あり / なし

治療効果 完全奏効 / かなり有効 / やや有効 / 無効

その他

説明医師名 _____ 同席医療者名 _____

患者氏名 _____ 同席者氏名 _____

愛知県がんセンター愛知病院 乳腺科



治療内容

平成 年 月 日

カルテ番号 _____ 氏名 _____

化学療法 アンスラサイクリン系 / タキサン系

治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日

分子標的薬 あり / なし

治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日

化学療法に伴う副作用のため就労困難となることがあります。

化学療法終了後もしばらく就労できない場合があります。

ホルモン療法 タモキシフェン/アロマターゼ阻害剤

治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日

LHRH アゴニスト (注射) あり / なし

治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日

ホルモン療法中の就労は基本的に可能

放射線 全乳房 / 腋窩 / 胸骨傍 / 鎖骨上 / 胸壁 / 腫瘍床

治療期間 年 月 日 ~ 年 月 日

放射線治療中は通院への配慮があれば就労可能

治療見込

治療内容											月	備考
化学療法												
ホルモン療法												
放射線治療												
手術												

説明医師名 _____ 同席医療者名 _____

患者氏名 _____ 同席者氏名 _____

愛知県がんセンター愛知病院 乳腺科





取組み②

情報提供の在り方を検討

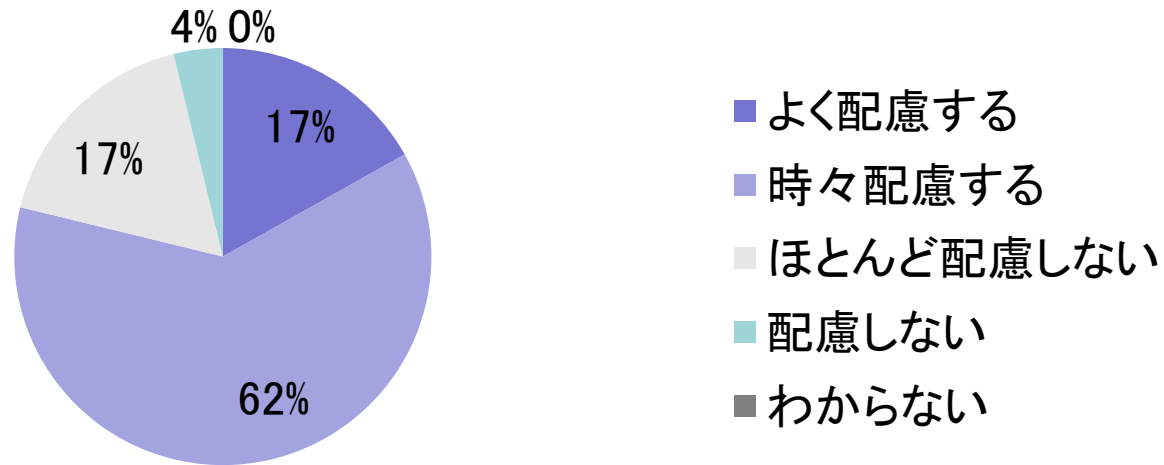
術前・術後治療計画に期間を記入(例)

治療内容	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	備考	
化学療法	3週ごと×4回													
アンストラサイクリン	→													
タキサン					3週ごと×4回									
→														
ホルモン療法														
アロマターゼ阻害剤									5年間					→
放射線治療														
									5週間					→
手術														
							手術予定							



取組み③ 就労内容の理解

患者の就労について診療上配慮しますか？



患者の就労について以下の内容を尋ねますか？


質問事項	YES(%)
職種	67.4
具体的な作業内容	84.2
勤務形態(夜勤業務など)	40.2
職場環境	34.2
通勤手段	14.1





取組み③ 就労内容の理解

患者の就労内容や状況を理解していない。→個々への十分な配慮ができる？

 **就労情報**

カルテ番号 _____ 氏名 _____

1) 現在の就労について 就労している / 就労していない

2) 今後の就労について 就労希望がある / ない / わからない

乳がんを治療しながらあるいは治療終了後に就労を希望される方には、可能な範囲で就労に対する支援を行います。お気軽にご相談ください。

1. 利き腕 右 / 左

2. 職種 _____

3. 雇用形態 自営業 / 正社員 / 派遣社員・契約社員 / パート・アルバイト / 無職

4. 業務内容 肉体的労働 / デスクワーク

5. 作業内容 (具体的に)

6. 就労時間 _____時間/日、 _____日間/週

7. 職場環境 屋内 / 屋外、休憩場所 あり / なし

8. 通勤手段 徒歩・自転車 / 公共交通機関(電車・バス) / 自動車

9. 勤務形態 夜勤業務 あり / なし、フレックス・時短勤務 あり / なし
出張 あり / なし

10. 休みの有無 休暇 _____曜日、休暇制度 あり / なし


11. 産業医 いる / いない / わからない
(従業員が50人以上の事業所には嘱託産業医を選任義務があります。)

12. 扶養家族 あり / なし

13. 職場復帰時の職場担当者への情報提供について
三者面談(本人、職場の担当者、医師)を希望 する / しない

平成 _____年 _____月 _____日

患者氏名 _____

愛知県がんセンター愛知病院 乳腺科 



取組み まとめ

1. がんを告知した時から就労支援を開始する。

2. 治療の見通しが分かる診療情報を提供

がん経験者の職場復帰関連要因として、事業者による就労調整が挙げられる (Mehnert A, Crit Rev Oncol Hematol. 2011). 治療の見通し(治療期間ならびに予想される休業期間)の情報は、患者自身が事業者と休業や職場復帰時の対応について相談するときに必要な不可欠である。

3. 問診票を活用し詳細な就労情報を収集